

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-1-7 災害に強い県土づくり
---------	-----------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

砂防課長 田中 忠夫

電話番号

0852-22-5205

事務事業の名称	雪崩対策事業
目的	(1) 対象 雪崩危険箇所に住する住民並びに住家等 (2) 意図 雪崩災害に対し、県民が安全に暮らせる環境を整備する
事業概要	・雪崩危険箇所の雪崩災害防止のため、交付金事業により、擁壁、予防柵等の雪崩防止施設の整備を行う。

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	雪崩危険箇所に対し、雪崩災害防止対策を講じた箇所の保全される人口の累計	目標値	489.0	489.0	489.0	489.0	人
	式・定義	前年度までの保全済み人口数+当該年度概成箇所の保全人口	取組目標値					
			実績値	489.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	0	0
うち一般財源(千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

・県内の雪崩危険箇所525箇所のうち、平成27年度末までに整備を完了した箇所は16箇所と未だ低い水準(整備率3.0%)にある。

6. 成果があったこと (改善されたこと)

・雪崩災害から県民の生命・財産を守るため、県内の雪崩危険箇所525箇所のうち、平成27年度末までに16箇所に対策を講じた。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

・県内の雪崩危険箇所525箇所のうち、平成27年度末までに整備を完了した箇所は16箇所と未だ低い水準(整備率3.0%)にある。

②困っている状況が発生している「原因」

・現状の限られた予算の中では、整備完了箇所の大幅な増加は望めない。

③原因を解消するための「課題」

・未整備箇所は依然として多く残されていることから、今後も事業実施状況に合わせて予算を確保していく必要がある。

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・近年降雪量減少のためか雪崩対策事業の要望が少なくなってきたこと、平成27年度以降は事業を行っていない。しかし、平成22年末には県東部で豪雪災害が発生しており、今後も気象状況や地元要望に配慮しながら、雪崩対策事業を実施する。

9. 追加評価 (任意記載)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。